

# 2009 年 第 13 回日本統合医療学会 (IMJ)

## 舌痛症患者に対する乳酸菌の混合培養による発酵産物「生源<sup>®</sup>」の長期使用経験例

○小野田 繁 1)、関口守衛 2)、新 良一 3)、三浦竜介 4)

1) 小野田歯科医院、2) ドイツ文化会館・赤坂関口クリニック、3) (株)エイ・エル・エイ中央研究所、4) (株)シー・エム・シー

難治性舌痛症患者に対して生源を応用し治癒させた症例の 10 年予後を知った。

### 【症例】

65 歳女性 (初診時)。舌がヒリヒリと痛く上下総義歯が合わないとの主訴で 1999 年 10 月に内科医の紹介で来院。義歯の調整ならびに新製の過程中、生源を 4.5g/ 日摂取したところ、3 週間で舌痛症が改善した。それ以降 3g/ 日で約 8 年間継続して服用してきたが、舌の痛みや器質的障害は起きていなかった。2007 年 4 月から生源服用が中断され、1 年 11 ヶ月経った 2008 年 12 月に舌痛症が再発したため、2009 年 3 月に再び本院に受診した。

### 【結果】

当初 10 年前と同じ 4.5g/ 日を 4 週間続けたが、症状が改善しないため倍量に増やしたところその後症状が改善しはじめ 8 週間後には完治した。同時にストレス度測定、口腔内水分測定とも正常値を示した。

### 【結論】

生源は舌の表面に顕在化した内在性の身体症状を改善させることが示唆された。